

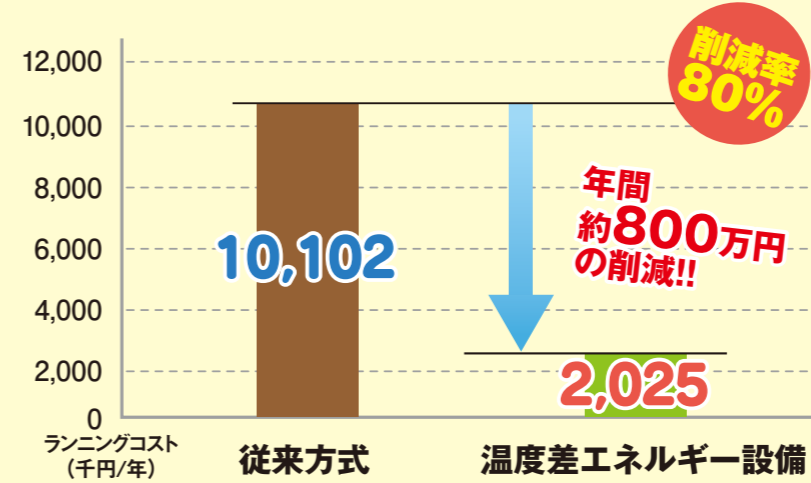
CO2 排出抑制等地球環境対策

捨てる水から熱を取り出し お湯を沸かすシステム

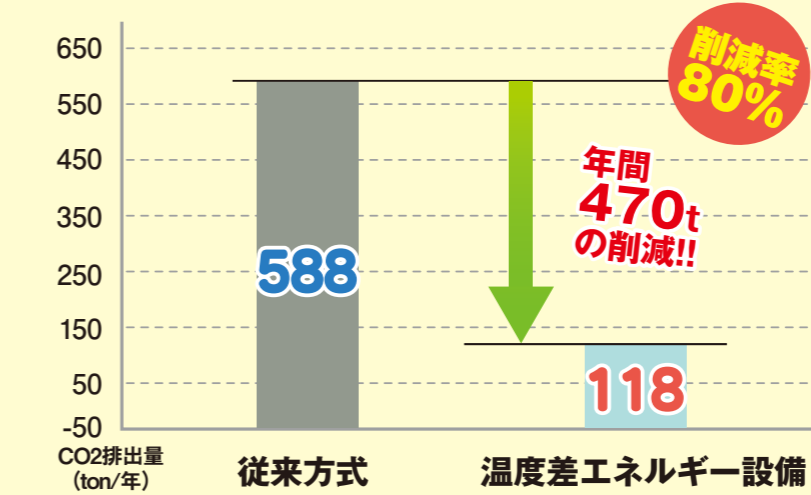
～透析治療は地球も救う?～



ランニングコスト削減効果



CO2 排出量削減効果



植物は二酸化炭素を吸って酸素を吐き出します。杉の木(*)1本当たり、1年間に平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとして計算すると、このシステムによる省エネ効果は、年間約17,200本の木に換算できます。

*杉の木は50年杉で、高さが約20~30m。



社会医療法人 川島会

〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町 1-39
 TEL: 088-631-0110 FAX: 088-631-5500
<http://khg.or.jp/>



とってもエコ! お湯をつくる仕組み

「社会医療法人 川島会」では
今まではそのまま捨てられていた（放流）お湯の熱を利用して、
病院内の透析治療などで使われるお湯をつくっています。
どのようにお湯がつけられるのか見てみましょう！

ポクたちが案内するよ！



温水ちゃん 冷水ちゃん めるま湯ちゃん

会長よりご挨拶

「社会医療法人 川島会」では、地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たすことを基本方針として運営をしております。

この度、「一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会」の「地域再生可能エネルギー導入促進事業」の補助金を得て、ヒートポンプ技術を利用した「温度差エネルギー設備」を川島透析クリニックに導入いたしました。

環境の保全・保護に努め、さらなる省資源・省エネルギー対策が求められる昨今、エネルギー安定供給の確保及びCO2排出抑制等地球環境対策として、新エネルギーの導入を促進することが求められています。「社会医療法人 川島会」では、これからも地球環境対策に積極的に取り組んでまいります。



会長 川島 周



1

今までは捨てられていた「放流水」を、一度採熱槽に貯めます。

2

熱交換器の中で、処理水槽から送られてきたお湯（24℃くらい）の熱をもらって、15℃くらいになったお湯を放流します。

3

ヒートポンプ室から来た12℃くらいの水に、さっきの熱を与えて17℃くらいのぬるま湯にして、またヒートポンプ室に戻します。

4

ヒートポンプ室の中でお湯がグルグル回っています。放流水よりもらった熱と電気力で内部を高温にします。

5

15℃くらいの井戸水をヒートポンプ室に入れて熱を与え、30℃くらいのお湯をつくります。

6

ヒートポンプ室で作られたお湯は、一度貯湯槽に送られます。

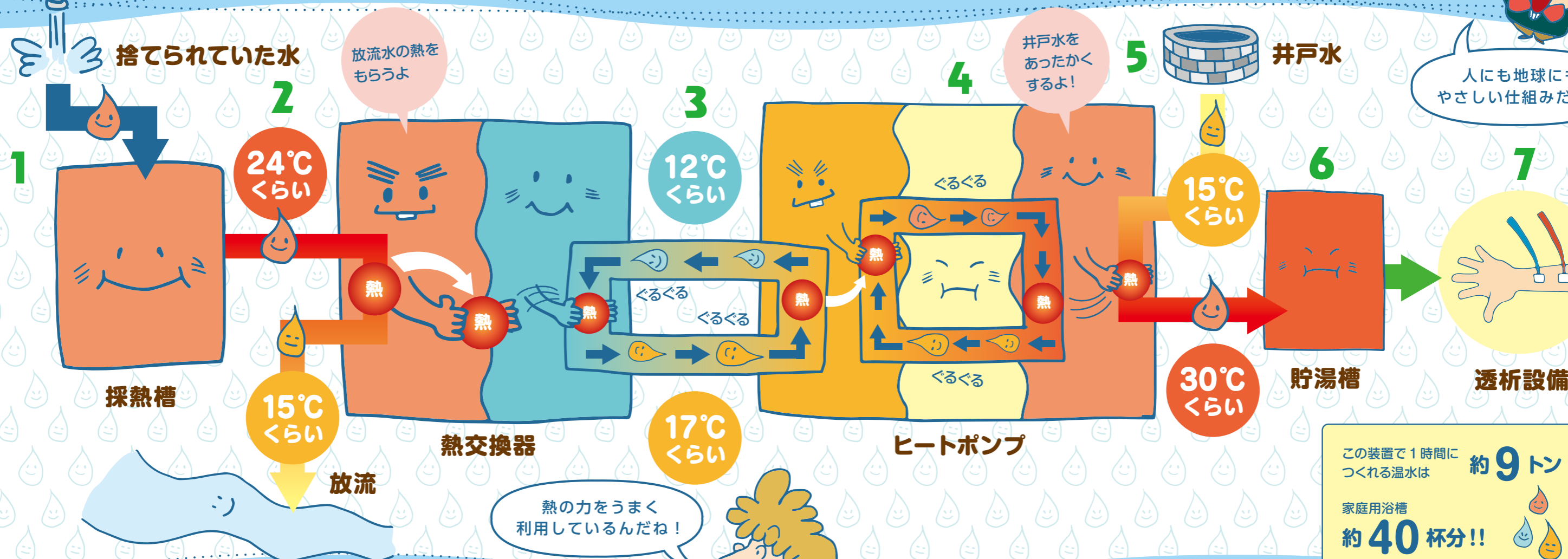
7

貯湯槽から施設内にお湯が送られ、透析治療などに使われます。

GOAL



人にも地球にもやさしい仕組みだね！



熱の力をうまく利用しているんだね！

この装置で1時間につくれる温水は **約9トン**

家庭用浴槽 **約40杯分!!**

